山村崇研究室（都市・地域デザイン）

Shu YAMAMURA Laboratory（Urban and Territorial Design）

概 要

●山村研究室は、都市・地域デザインの観点から、都市計画学を基盤として、産業構造の脱工業化と知識化、 都市人口の縮減など、近年の急速な社会経済構造転換の潮流のもとでの、都市環境と人間活動の相互関係に着目した研究活動に取り組んでいます。

●そのため、質的手法（フィールドワーク、半構造化インタビュー等）と、計量的手法（データ解析、GIS等）とを組み合わせて、都市変容の実態を分析し、その背後にある「変化のしくみ」を解明するとともに、そうした知見に基づいた"都市・地域"（社会経済活動の舞台としての一体的かつ多義的領域）の"デザイン"（物理空間・社会空間・制度空間の構築と再生）手法の構築を試みています。

●これまでのところ、研究蓄積が最も分厚いのは、都市と産業（ものづくり産業、商業・卸売業、都市型新産業）の関係解明と、産業を基軸とした地域デザインの研究（下記「領域1」）ですが、その他にも、市街地再生、景観解釈など、脱成長・成熟期の都市・地域デザインにかかわる、幅広い領域の研究に取り組んでいます。

領域 1:
生態的 産業圏域論

「産業」と「都市空間」の相互作用に関する実態解明とデザイン

「なぜ、この場所に、この産業が発展しているのか」「産業を育むには、どんなまちづくりが必要か」・・・。こうした疑問に対して、都市の空間的変化と、その上で展開されるさまざまな経済活動との関係を読み解くことで、答えを導き出そうとしています。

「産業・就業」をめぐる興味深い現象を発見し、実態解明をしたり、それによって生じる新しいニーズ・課題に対応するための政策研究に取り組んでいます。

keywords ※注

- **ものづくり産業と都市**
  - ものづくり（クラフト）産業の継業と起業
  - 地場産業インキュベーション
  - 住工混在地域における工場の残留と跡地利用
- **商業・卸売業と都市**
  - ニュータウンの近隣商業施設の衰退と再生
  - 卸売業の衰退と地域再生
- **知識産業・創造産業と都市**
  - 知識産業、創造産業の立地
  - クリエイティブ産業の知識交流と「場所」
  - ハイブリッド集積（「産業分類」の溶解）
- **政策・計画**
  - 首都圏計画／国土計画と産業政策
  - オフィス立地政策
  - 広域連携による地域経済開発（ＥＵ）
  - 多様化する働き方とワークプレイス
  - コロナ禍の働き方変化（テレワーク等）ほか

※注：列挙したkeywordsは、山村の過去の研究で実際に扱ったものです。あくまで例示なので、その他のテーマについての研究も可能です（独自テーマを推奨します）。

老朽化・高齢化する団地の再生（リノベーション案検討）

「アートのまちづくり」と知識創造産業クラスターの研究

衰退する商店街の研究（模型を使った再生計画の検討）

領域 2:
縮充的 市街地再生論

脱成長期における市街地変容と都市空間再生

都心近辺にあっても都市更新が進まず停滞しているインナーシティや、脱成長期を迎えた郊外住宅地の実態解明と、再生施策の立案・分析に取り組んでいます。

地域課題と再生プロセスをモニタリングするための「市街地評価」の手法づくりも進めています。

keywords

- **インナーシティ再生**
  - 衰退するインナーシティの再生
  - 老朽ビル・空き家のリノベーション
  - 再生を担う社会的企業と小規模事業
- **郊外住宅地再生**
  - 首都圏郊外の人口構造変容
  - 首都圏郊外の住環境変容
  - 縮退する郊外住宅地の再生
  - ポストコロナの郊外住宅地像
  - 住宅地アセスメントツールの開発ほか

領域 3.

包摂的都市空間論

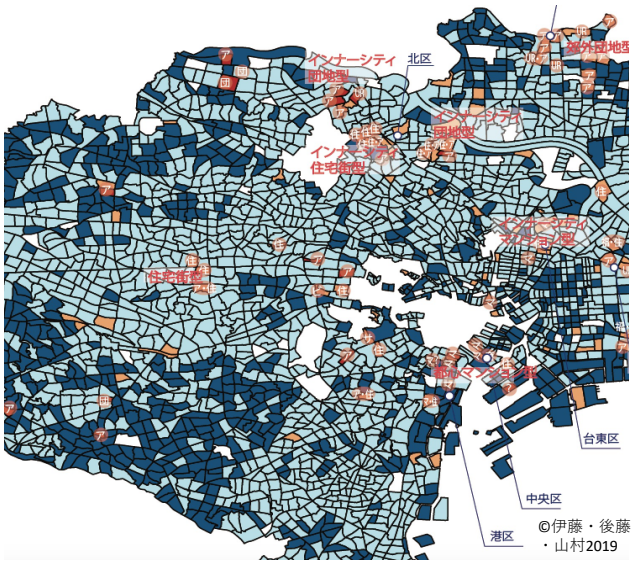
健康と知的生産を下支えする
都市空間のあり方

超高齢・縮退社会に対応した都市計画の構築にむけた、外出・歩行習慣に影響を及ぼす都市環境因子の抽出・分析、“居場所”の計画論、業務市街地の都市環境と従業者の知的生産性に関する研究に取り組んでいます。

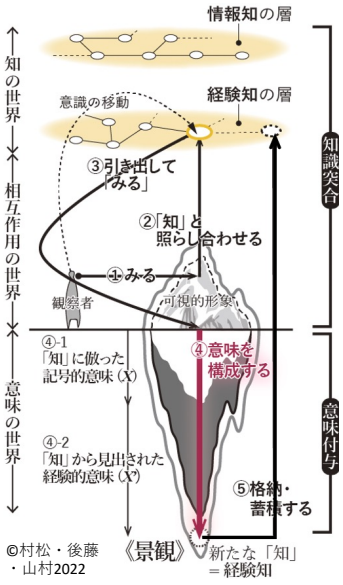
keywords

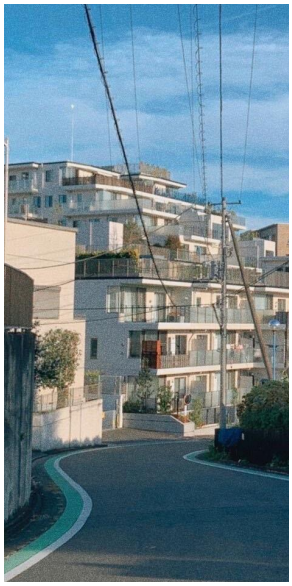
- 都市環境と外出歩行率、ウオーカビリティ
- 都市環境と高齢者の「孤独感」
- 都市環境と精神的疲労・知的生産性
- 「みんなの居場所」の実践と検証
- 農村観光が健康に与える影響

ほか



GISを使った「独居高齢者」ホットスポットの分析





日常にありふれた、“匿名的な景観”の分析を通して、人々が「景観」をどのように理解しているのか、《人間ー環境》の本質に迫る

領域 4.

構造的景観解釈論

現象としての《景観》
の理論化と評価

《景観》の現象学的理解にもとづく、人間と環境の相互関係に関する研究に取り組んでいます。都市環境・まちなみを人間がどのように認知しているのか、地域イメージはどのように形成され、「空間体験にいかなる影響を及ぼすのかについての解明を試みています。

他の研究テーマと一見関係が薄く思えるかも知れませんが、実は「都市環境と各種の人間活動の相互関係」を解明するという意味では、いずれのテーマにも通じる、基礎的研究に位置づけられます。

keywords

- 景観の現象学的理解と「知」
- 地域の表象イメージ構造
- まちなみ景観の解釈と保存・保全
- シークエンス景観と都市イメージ

ほか

研究室活動とプロジェクト

地域デザインにかんする実践的研究に取り組んでいます。具体的な活動内容は、年度によって異なりますが、企業や自治体との共同研究、都市デザインワークショップやコンペへの参加などがあります。

定期的に論文ゼミ・輪読ゼミを開催して、研究テーマを深掘りして、先輩・後輩や、学生・教員の立場をこえて「ともに考える」ことを大切にしたいとおもいます。

老朽化・空き室化が進む繊維問屋街の再生プロジェクト

山村研に関心がある方は（問い合わせ先）：

随時、個別説明と相談に応じます。
気軽に、メールで連絡をいただければとおもいます。

メールアドレス： shuyamamura@tmu.ac.jp
部屋：9号館　5階　556室